

親しみやすい環境で
習得した知識を生かせる職場



岡 綾音

Oka Ayane

税務職員 2020年採用

香椎税務署 法人課税部門

Question

1 現在の仕事内容について教えてください。

私は法人課税部門に所属しており、会社から提出される法人税や消費税等の申告書が正しいかどうかを、その会社に訪問の上、帳簿書類や法律等と照らし合わせて確認する調査事務を担当しています。

会社によって業務内容や特徴も様々で、戸惑うことが多くありますが、親子ほど年の離れた役員の方から業界特有の話等を聞く機会も多く、日々新たな発見があります。身に付けた知識を活かして、前回よりも中身の濃い調査ができたときは自分の成長を感じられますし、代表者や税理士を説得して調査をやり終えた時は達成感を感じます。



日々新たな発見があり調査を終えた時は達成感を感じます!

Question

2 自分のどんなところが税務の職場に向いていると思いますか。

税務の仕事は、まず相手の話を聞くところから始まります。相手がどのように考えて、どんな思いを持っているのかを理解することが一番大事なことです。私は、初対面の方とも明るく接することができるため、相手が話しやすい雰囲気を作り、相手の本音を引き出せるという点で、向いていると感じます。また、人の役に立つ仕事がしたいと思っていたため、不正に利益を得ようとする人が得をし、正直者が損をすることの無いよう、強い志をもって仕事ができるところが税務の職場に向いていると思います。

Question

3 職場の雰囲気はどうですか。

税務の仕事は、採用されるまでは普段の生活で関わる事がなく、堅苦しいイメージを持っていました。また、私自身、初めて社会に出るということもあり、緊張して、初めは何をしてよいのか分からないことが多くありました。

しかし、上司や同じ部門の先輩方が、親身になって話を聞いてくださるため、仕事をする上で分からないことや困ったことがあっても、周囲に相談しやすい環境があります。難しい事案を部門職員全員で意見を出し合いながら進めていくこともあり、団結力のあるアットホームで風通しの良い職場です。

また、育児休業等の両立支援制度が充実しており、育児休業後に第一線に復帰して活躍されている女性職員も数多くいることから、子育て世代の方も働きやすい環境です。



Message

税務の職場は、適正かつ公平な課税及び徴収を実現するために、幅広い分野の専門的な知識を駆使して業務にあたります。幅広い分野の専門的な知識が必要ですが、それらの知識を身に付けるための研修等が充実しており、先輩方や同期とも切磋琢磨していける環境がありますので、不安を感じる必要はありません。不正は許さないという強い気持ちや使命感を持っている方以外にも、国の税制に興味のある方や仕事の達成感等を感じたい方にも是非おすすめできる職場です。